



LINE QR コード



令和5年 5月 第462号

浄恩寺同朋会報

電話 052-881-8474

「永代経法要」 お勤めいたしました。

午前だけの法要予定でしたが、参拝希望者が多く、午前十時と午後一時の二回に分けて、約七十名の方々に参拝、ご聴聞していただきました。

昨年同様、荒山信氏に法話して頂きました。

このような言葉、お話が印象にのこりました。

「毎年、年齢を重ねていく私の人生、その年齢を迎えることは初めてであり、
今しか出会えないことがある。今を大切に、自分というものを明らかにしながら生きる。」

「人は、人間関係の関係性の中で生きている。
妻がいるから、私は夫という名を名乗ることができる。
子供が生まれたから、親という名を名乗ることができる。
孫が生まれたから、私はじいちゃんという名を名乗ることができる。
私がおもらったこうした名はいくつあることか？こうした関係に目を向け、関係性を大切に生きることで、自分を大切に生きること。」

人が働くといことは、傍を楽にする。働くは「傍楽」という意味。ここにも人との深い関係性がみえてきます。

次回の法話は荒山優氏、十一月二十三日です。



前坊守「浄咲院釋尼正蓮」一周忌法要

五月三日の夕方、上宮寺住職、そして、私の家族と姉の家族で法要を勤め、奇跡的に予約が取れた。「うな富士」で会食ができました。ひ孫も二人、横浜から来てくれた賑やかなひとときを過ごしました。



吉田さんのおばあちゃんとの写真も、お二人の法要後見せました。日々を臆念で過ごした



「常念寺様落慶御遠忌法要参勤」

五月七日、コロナ禍で四年越しとなつてしまつた法要で、龍笛を吹かせて頂きました。住職の念いの深さを慮り、無二の演奏を勤めました。



「鶴舞公園早くもバラ満開」



今年のは早く咲く
・早
・す
・ぎ



